

も発信したいと考えており、図書
の貸出や情報の保存、提供をはじめと
する管理業務について、図書館業務
に精通した事業者へ委託することと
したものです。

委託先の人数構成については、具
体的な人数の提示ではなく、いくつ
かの委託の条件を示し、図書の貸
出、図書館資料の保存、情報の紹介
や提供などの一般的な図書館業務の
ほかに、図書館事業も含む内容とし
ています。また委託先の職員とは別
に館長と担当職員を配置したいと考
えています。

外部委託した場合の年間の人件
費、維持費等については、備品と図
書の購入費を除く27,084千円
が維持管理経費となっています。

図書館におけるボランティア、
「図書館サポーター」には、現在26
名の方に登録をいただいております。開
館行事の支援や、ブックスタートの
際の読み聞かせの実演や配本、お話
会などの支援もお願いしたいと考
えています。

図書館の会議室については、
1階の多目的室は、定期的に行うお
話会の会場や図書館サポーターの打
合せ、図書館利用者の乳幼児の遊び
場として、2階の学習室と研修室
は、調べものや学習など、図書館の

資料を利用した個人の集まりやサー
クルの利用をと考えています。また
学童施設としての活用については、
指導員を配置したような学童施設に
はなっていないため、学童施設と同
様に活用する考えはありません。

西塔いん子議員



①農道の早期除雪を

問 昨年の冬も大雪で特に山間部
の果樹は大変な被害を受けた
が、今年の雪は量も寒さも昨年の比
ではない。周囲の圃地には太い幹も
裂け、枝も折れている木も多く見ら
れる。また、パイプハウスも何棟か
潰れており、更に山間部の圃地の被
害が心配される。特に中山町の特産
品のすももは、山間部に多く植えら
れており、枝も大変折れやすく、2
年続きの大雪は収量の減も心配され
る。雪解けとともに、更に枝折れの
被害が拡大することからも、被害を
最小限にするため、農家の方が早く
畑に入れるよう手を打つことが必要
であり、早急に除雪の段取りを進め
ていただきたい。

答 2月末の町内の積雪深を調査
したところ、山間部では1m

①学校給食の放射性物質検査に
ついて

渡辺 博文議員



問 東京電力福島第一原発の事故
に伴う学校給食の安全確認に
関して、山形市は1月16日、市の学
校給食センターが市立小中学校に提
供している給食の放射性物質検査を
始めると発表し、1月23日から実施
し、月曜日から金曜日までの5日分
をまとめて検査し、翌週火曜日に市
のHPで公表するとしている。また
東根市・天童市・寒河江市でも、1
月31日より同検査を開始し、山形市
と同様に公表しています。こういっ
た近隣の市の動きを受け、児童・生
徒の保護者からは、中山町は実施し
ないのかという声もあるようだが、
現在の学校給食の放射性物質検査実
施状況をお聞きしたい。

答 学校給食に納品された食材に
ついて、町では直接検査は
行っていません。しかしパンや麺類
については、学校給食会がサンプル
調査を行い、牛乳については山形県
が検査を実施し安全が確認されたも
のを提供しています。また、農産物
については、現在出荷されている山

以上、平地でも50cm以上もあり、樹
圃地に通じる農道には、車両が進入
できない状況です。今年の冬は、豪
雪と連日の低温で、生活道路の圧雪
処理や集雪場所の排雪対策など、現
在も継続して行っています。

町としても、果樹や農業施設の被
害を最小限に抑えるには、農道の早
期除雪が必要であると認識していま
すが、2月末の時点では町保有の除
雪機械の作業能力を超える雪がある
ことから、3月に入ってから除雪
実施とし、例年より少し遅れました
が農道の除雪作業に入っています。

②空き家対策で安全と人口増加を

問 今年の冬は、大雪の影響で空
き家が倒壊したなどの被害が多
くの自治体で発生している。町内
でも大変危険な空き家も見受けられ
る。

このようなことから、町民の安全性
を考え、早めの空き家調査が必要で
ある。危険な建物は持ち主に処分し
ていただき、また、修理して使える
ものは持ち主と協議し、空き家とし
て情報を発信していく事が必要と考
える。町営住宅の建替えも進まない
なか、低家賃の借家を必要とする若
い世代、団塊の世代のUターン者に
対する空き家の情報発信は、町に

け等の事例が多数発生している。私
たちの中山町でも様々な事例が確認
されている。

そこで、町の公用車の何台かに青
色回転灯を装備し、青パト車として
登録してはどうか。青色回転灯を点
灯してのパトロールは、特に日没後
は非常に目立ち、地域住民にとつ
て、見回り活動をしていくというた
の安心感につながると共に、何かし
ら悪事を考えているものにとつて
は、見られているという意識が働
き、大きな犯罪抑止力になるものと
考えられる。不審者対策や農作物盗
難、あるいはゴミの不法投棄防止の
ため、そして町長が日ごろから言っ
ている安心・安全の町づくりとして
の役割を担えるのではないかと考え
るが、青パト導入をどう考えるか。

答 県内の刑法犯の犯罪の認知件
数は大きく減少し、当町でも
同じような傾向を示しています。こ
れは、町の防犯協会が戸別訪問を
し、住宅はもちろんのこと、自動車
や自転車の施錠、啓発を行う「安全
安心こんばんは作戦」や小学校のP
T Aパトロール隊、老人クラブの孫
見守り隊が行う児童の下校時の見守
りパトロール、防犯連絡員、青少年
育成会議における街頭犯罪防止啓発
など、多くの団体の活動により、こ

問 近年、山形警察署管内で変質
者の出没や不審者による声掛

とつてもプラスの面が多いのではな
いか。

答 少子高齢化や核家族化、人口
減少等を背景に空き家の数
は、全国的に増加傾向にあります。
こうした空き家の増加に伴い、自治
体においても、所有者と利用希望者
の仲介を目的とした空き家情報の提
供など、その利活用のための施策を
講じているところもあります。県内
では、15の市町村が「空き家バンク」
という形で、ホームページにおいて
空き家情報を紹介しています。

一方で空き家に関しては、利活用
の面だけでなく、空き家が放置さ
れ、家屋の倒壊や破損、落雪による
隣家等への影響など新たな問題も生
じています。空き家の利活用には、
町内への定住、県外からの移住の
きっかけづくりにも有効な面があり、
町の総合計画においても「住宅基盤
の整備」の主要施策の一つとしてお
ります。

町としても、今後、区長さんを通じ
て「空き家調査」を実施し、町内の
空き家に関する情報を収集しまして、
その利活用の可能性や管理上の問題
点等についての検討資料としたいと
考え、その調査結果等を見ながら、
今後の空き家に関する具体的な対応
策について、検討を進めていきます。

のような結果になったものと考えて
います。

青色回転灯装備車の登録台数は、
現在も増加傾向にあり、近隣市町村
においても公用車に装備しているこ
とも承知しています。今後、講習受
講などの準備を進めてた上で、当町
においても実施をしていきたいと考
えています。

鈴木 徹雄議員



①除雪について

問 昨年、今年と2年連続の大雪
となり、除雪に大変苦労され
たと思つている。しかし、苦労した
割にはうまく除雪ができなかったの
ではないか。特に狭い道路では、地
域の方々が苦情が殺到したと聴い
ている。除雪のやり方を根本的に変
えることやチェックする機能を加え
ることで苦情を解消し、地域の方々の
満足度を増加することができると
考えるがいかがか。

答 今年、豪雪と低温が続いた
ことにより、除雪作業は困難
を極め、特に狭い道路や日当たりの
悪い路地などは、圧雪が厚く、幅員
も狭くなるなど、住民の皆様には大